

製品名: INHA マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM80901**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,ICC,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウムを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ICC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	40kDa

抗原情報

遺伝子名	INHA
別名	INHA
遺伝子 ID	3623.0
SwissProt ID	P05111
免疫原	大腸菌で発現したヒト INHA の精製された組み換え断片。

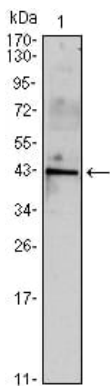
背景

インヒビンは、女性の卵胞の顆粒膜細胞と男性の精細管のセルトリ細胞によって産生されるペプチドホルモンです。性索間質由来の細胞によって選択的に発現され、下垂体によるフォリトロピンの分泌を阻害します。また、インヒビンは、サブユニットの構成に応

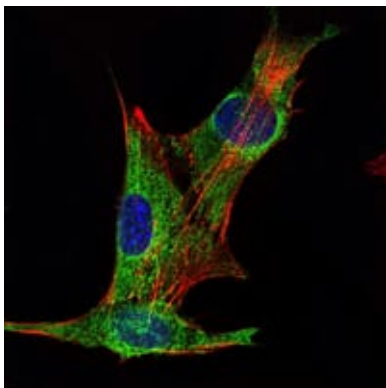
じて、視床下部および下垂体ホルモンの分泌、性腺ホルモンの分泌、生殖細胞の発達と成熟、赤血球の分化、インスリン分泌、神経細胞の生存、胚の体軸発達、骨の成長など、多様な機能の調節に関与しています。インヒビンとアクチビンはそれぞれ下垂体によるフォリトロピンの分泌を阻害および活性化するため、インヒビンはアクチビンの機能に拮抗すると考えられます。インヒビンには、別々の遺伝子によってコードされる2つのサブユニット（アルファおよびベータ）があります。アルファサブユニットは、インヒビンとアクチビンのどちらが産生されるかを決定します。αサブユニットは一定であるため、様々なタイプのインヒビンはβサブユニット（a、b、c、d）によって定義されます。インヒビンAはαとβAの二量体です。インヒビンBはαとβBの二量体です。タンパク質分解により、インヒビンαには様々な生理活性型が存在します。20/23 kDa型は成熟α鎖のみから構成され、26/29 kDa型はジスルフィド結合を介して成熟α鎖に結合した最N末端プロペチドから構成され、50/53 kDa型はプロタンパク質全体を含みます。さらに、各型はモノグリコシル化またはジグリコシル化を受ける可能性があり、これが質量差の原因となります。

研究分野

画像データ



マウス精巣（1）組織溶解物に対する INHA マウス mAb を用いたウエスタンブロット分析。



INHA マウス mAb（緑）を用いた PANC-1 細胞の免疫蛍光染色。青：DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤：Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。